

一般社団法人 全日本コーヒー協会

2018年研究助成採択者

2017年12月14日～2018年1月15日の募集期間に、66件の応募を頂きました。

厳正な審査の結果、下記の10件を採択致しましたのでお知らせします。

氏名	テーマ	対象	分類	所属	職位
コバヤシ マサキ 小林 正紀	コーヒー成分が記憶形成と腸管免疫に及ぼす影響に関する研究	動物 ヒト 培養細胞	抗酸化、 抗加齢	北海道大学 北海道大学病院 薬剤部	准教授
ノハラ ユメ 野原 夢	コーヒーの日常的な消費が動脈硬化と認知機能に及ぼす影響 ～20年の疫学的縦断研究～	ヒト	動脈硬化	久留米大学 医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 疫学研究室	助教
シゲモリ ヒデユキ 繁森 英幸	コーヒー由来カフェオイルキナ酸の認知機能改善効果に関する研究	in vitro 動物 培養細胞	精神神経	筑波大学 生命環境系 天然物化学研究室	教授
カサザ ショウ 柿澤 昌	コーヒー成分の加齢に伴う脳機能低下に対する抑制作用とその分子機構の解明	動物	抗酸化、 抗加齢	京都大学大学院 薬学研究科 生体分子認識学分野	准教授
タムラ モイ 田村 基	コーヒーのエクオール産生促進効果の解明	in vitro 動物	その他（更 年期障害緩 和・腸内環 境改善）	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門（旧食品総合研究所） 食品健康機能研究領域 栄養健康機能ユニット	主席 研究員
タモリ ヨシカズ 田守 義和	白色脂肪細胞から褐色脂肪細胞化への分化転換におけるコーヒー成分の寄与の研究	動物 培養細胞	糖尿病・ 抗肥満	神戸大学大学院 医学研究科内科学講座 糖尿病内分泌内科 肥満糖尿病病態研究グループ	客員教授
コトウ コウロウ 後藤 孔郎	コーヒー摂取によるサルコペニア発症リスク低下機序の検討	動物	抗酸化、 抗加齢	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座	助教
クダ タカシ 久田 孝	コーヒー感受性腸内常在菌（FISIB） —その菌種の増減は宿主の健康に寄与するの—	in vitro 動物 培養細胞	消化器	東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門 食品微生物学研究室	准教授
コトウ ミル 後藤 穰	コーヒー成分による花粉症患者T細胞の活性抑制メカニズムの解明	in vitro 培養細胞	その他（花 粉症）	日本医科大学耳鼻咽喉科 日本医科大学多摩永山病院	准教授
アサヌマ マサト 浅沼 幹人	パーキンソン病での先行性腸管神経障害に対するコーヒー成分による神経保護効果	動物 培養細胞	精神神経	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経機構学分野	教授